

産業建設常任委員会視察報告書

1 視察日、視察先、視察内容

令和 2 年 1 月 22 日（水）岡山県玉野市 地域公共交通について

2 参加委員 中村博行委員長、藤岡修美副委員長、岡山明委員

高松秀樹委員、恒松恵子委員、宮本政志委員、森山喜久委員

3 報告事項

（1）視察目的

平成 28 年 3 月に、本市の公共交通ネットワークの将来像やその実現に向けた方策について示した「山陽小野田市地域公共交通網形成計画」が策定された。

現在、その計画に基づき、バス路線の再編等に取り組んでいるが、市内全域における利便性を追求している玉野市の地域公共交通の取組を本市の参考としたい。

（2）玉野市の状況

「市民の外出の機会を増やし、心身共に健康で生涯活躍してもらいたい。また、免許を持たなくても日常生活に困らない市にしたい」という市長の思いで玉野市の公共交通の見直しは平成 22 年度に始まった。

アンケート調査や地域説明会の後、地域公共交通計画を策定し、広報と利用促進並びに実証運行評価の検証を行い、平成 25 年 4 月から本格運行を開始した。

実証運行評価によると、利便性の向上、運行効率の向上、利用者の増加等一定の効果が出ているが、その後も予約システム導入や配車システムの導入、そして継続的な地域での説明会により利用促進を図るなど問題点の解決に取り組んでいる。

（3）考察

玉野市の地域公共交通はシーバス（デマンドバス）とシータク（デマンドタクシー）を効率的に利用することで、公共交通を利用できる人が大幅に増加しており、効果を発揮してきている。また、今後の課題としてシーバスやシータクの運行上の課題、観光への対応、自動運転や MaaS など新技術への対応にも取り組んでおり、本市もこれらの取組を参考にしながら本市独自の地域公共交通を形成していくことが重要であると考える。